

1. 不安症状を示す自閉症スペクトラム障害の児童生徒に対する認知行動療法プログラムの効果

基本情報

試験名	不安症状を示す自閉症スペクトラム障害の児童生徒に対する認知行動療法プログラムの効果
試験簡略名	ASD 児に対する CBT
試験実施地域	京都, 日本

対象疾患

対象疾患名	自閉スペクトラム症, 不安症
-------	----------------

目的

目的 1(Narrative)	ASD 児の不安症に対する認知行動療法の有効性を明らかにする
目的 2(Basic)	有効性
試験の性質 1	探索的
試験の性質 2	実務的

評価

主要アウトカム	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV 日本語版 Spence Children's Anxiety Scale, 児童用認知の誤り尺度,
副次アウトカム	Depression Self-Rating Scale for Children, Children's Depression Inventory, Social Responsiveness Scale, 日本語版 Spence Children's Anxiety Scale Parent-Version
試験の種類	介入
分析計画	主要アウトカムの面接結果について, 診断合致の変化によるカテゴリカル変化と重症度評定によるディメンジョン変化について前後比較を行う。

試験デザイン

基本デザイン	Pre-Post オープントライアル
ランダム化	いいえ
ランダム化の単位	いいえ
ブラインド化	オープン
コントロール	いいえ
層化別	いいえ
試験実施施設の考慮	なし
ブロック化	なし

介入

群数	1
介入目的	治療・ケア
介入種類	認知行動療法による介入

介入 1	認知行動療法
介入 2	
介入 3	
介入 4	

適格性

年齢 下限	8
年齢 上限	15
性別	男女両方
選択基準	(a) 子どもが 8~15 歳である, (b) 親子で毎週 1 回プログラムに参加できる, (c) ASD の診断を受けている, あるいは SRS の基準に該当する, (d) DSM-IV に基づく ADIS において, 分離不安障害, 社交不安障害, 特定の恐怖症, 全般性不安障害のいずれかを満たす
除外規準	(a) 外面化障害 (ADHD (attention-deficit / hyperactivity disorder: 注意欠如・多動性障害), 反抗挑戦性障害, 素行障害), PTSD (posttraumatic stress disorder: 心的外傷後ストレス障害), 物質乱用, 統合失調症, 精神遅滞, 摂食障害, 身体表現性障害に合致しない, (b) 知的能力障害が存在しない (c) 申し込み時に, 薬物療法を含めた他の治療を受けていない
目標参加者数	10

責任研究者

責任研究者	石川信一
所属組織	同志社大学
所属部署	心理学部
住所	京田辺市多々羅都谷 1-3
電話	
e-mail	

試験問い合わせ窓口

担当者名	菊田和代・酒井美枝
組織名	同志社大学
部署名	心理臨床センター
住所	〒602-0932 京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町 345
電話	075-251-3282
e-mail	

実施責任組織

実施責任組織	同上
--------	----

研究費組織

研究費提供組織	同志社大学, 文部科学省
組織区別	同志社大学, 文部科学省
研究費拠出国	日本

その他関連組織

共同実施組織	なし
その他の研究費提供組織	なし

試験進捗状況

試験進捗状況	限定募集中
プロトコル確定日	2014/7/30
登録・組み入れ(予定)日	2014/7/30
フォロー終了(予定)日	2018/3/31
入力終了(予定)日	2019/7/31
データ固定(予定)日	2019/8/31
解析終了(予定)日	2119/3/31